



確かな学力の育成

一人一人の深い学びを保障する授業の充実

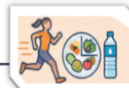
- 自校の学力向上プランに基づく「見通し」と「振り返り」による学習過程の具体化
- 各教科等の「指導内容の系統」を意識した授業改善
- 言語能力、情報活用能力を育成する「朝読書」「校内読書環境」等の充実
- GIGAスクール推進事業（一人一台端末の更新及び個別最適な学びと協働的な学びの環境を構築、宗像市GIGAスクール推進構想の推進）
- 外国語教育支援事業（英語専科指導教員の配置、イングリッシュキャンプ等の実施）
- 学校図書館事業（学校司書研修会や図書館教育担当者研修会の実施、図書館を使った調べる学習コンクール、小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成講座の実施）



豊かな心の育成

誰一人取り残さない重層的支援の充実

- 「ふるさと宗像BOOK」を活用した世界遺産を核としたふるさと学習の計画的、系統的な実施
- 教室が楽しいと思える、「居場所づくり」「絆づくり」となる学級活動（1）の充実
- 「全ての児童生徒に安心できる学びの場を（フローチャート）」の共通理解と、一人一人の相談支援体制の確立
- 地域への愛着を育むふるさと学習支援（ゲストティーチャー派遣、ふるさとふるふる講座、体験学習会の実施、小学校向けデジタル副読本の作成等）
- 教育相談事業及び子ども家庭相談事業（スクールカウンセラー派遣、教育相談員、スクールソーシャルワーカーの配置及び登校支援員による連携）
- 教育支援センター運営事業（教育サポート室エール、子どもの自立サポートセンターホープの運営、県立少年自然の家「玄海の家」Chot GKIとの連携）



健やかな体の育成

生きる力を育む食育の推進

- 運動習慣や体づくりに関する「一校一取組」の充実、組織的、計画的な実施
- 感謝の心を育み、たくましい体をつくる食育の充実
- 防災について子供の「自助」「共助」の意識を高める取組の組織的、計画的な実施
- 食のまちむなかたの推進（食育を観点とした生活科・総合的な学習の時間における9か年の教育課程の構築）と学校支援訪問による食育の充実
- 学校・家庭・地域連携食育推進事業（野菜づくりや加工品づくり体験、魚さばき体験、郷土料理の学習等の実施）
- 学校給食管理運営（自校式給食の特徴を活かした給食提供、地場産物の利活用の拡充、アレルギー対応、給食費等への支援）



特別支援教育の充実

多様な教育ニーズへのきめ細かな支援の充実

- 通常の学級における「UDの視点」を取り入れた授業づくりと学習環境の整備
- 「学校生活における行動ルール」の明確化、共有化による支持的風土のある学級づくり
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画、日本語指導が必要な児童生徒への個別の指導計画等を活用した校内チーム体制の確立
- 特別支援教育推進事業（特別教育支援員の配置、特別支援教育指導員、日本語指導コーディネーターによる学校訪問、県立特別支援学校の巡回相談等における教職員への相談及び助言の実施）
- 県立むなかた特別支援学校、福岡教育大学との連携による相談機能、研修機能の充実
- 医療的ケア看護職員派遣事業（日常的に医療的ケアが必要な児童生徒の学習や行事参加等を保障するための看護職員の派遣）

学校経営の充実

安全・安心で質の高い教育環境の実現

- 重点目標の達成に向けた「調整授業時数制度」を見据えたカリキュラムマネジメント、組織マネジメントの推進
- 働きやすさ（心理的安全性）と働きがい（成長実感）を視点とした「働き方改革」の充実
- 宗像市学校部活動ガイドラインに基づく部活動の地域展開の推進
- 地域の核・地域防災の拠点となる学校施設・設備の整備
- 小・中学校施設改修事業（教室不足解消に向け、教室増築工事の設計、教育環境向上のための照明のLED化、トイレの洋式化の推進等）



小中一貫コミュニティ・スクールの充実

学校、家庭、地域が連携・協働する社会総がかりの教育

- 学校、家庭、地域での活動をまとめ成長を実感する1年生から9年生までのキャリアパスポートの活用
- 学園における小中一貫した指導方法の共有化と各学校、学園の課題解決に向けた特色ある教育活動の具体化
- むなかた子ども大学事業（企業や地域団体等との連携によるメインキャンパス、特設講座、子ども大学の日、夏の課外授業の実施）
- 小中一貫コミュニティ・スクール推進事業（義務教育9年間で育成を目指す子供像の実現に向けた学園運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進）
- 研究指定・委嘱校事業（宗像市小中一貫コミュニティ・スクール研究発表会等）



宗像市学校教育アクションプランの概要

1. 宗像市学校教育アクションプラン策定の主旨

宗像市では、令和7年に「第3次宗像市総合計画」（以下、総合計画）を策定し10年後の宗像市の目指す姿を示しました。また、「宗像市教育大綱」（以下、教育大綱）を策定し、教育行政を推進するための基本方針についても示しています。

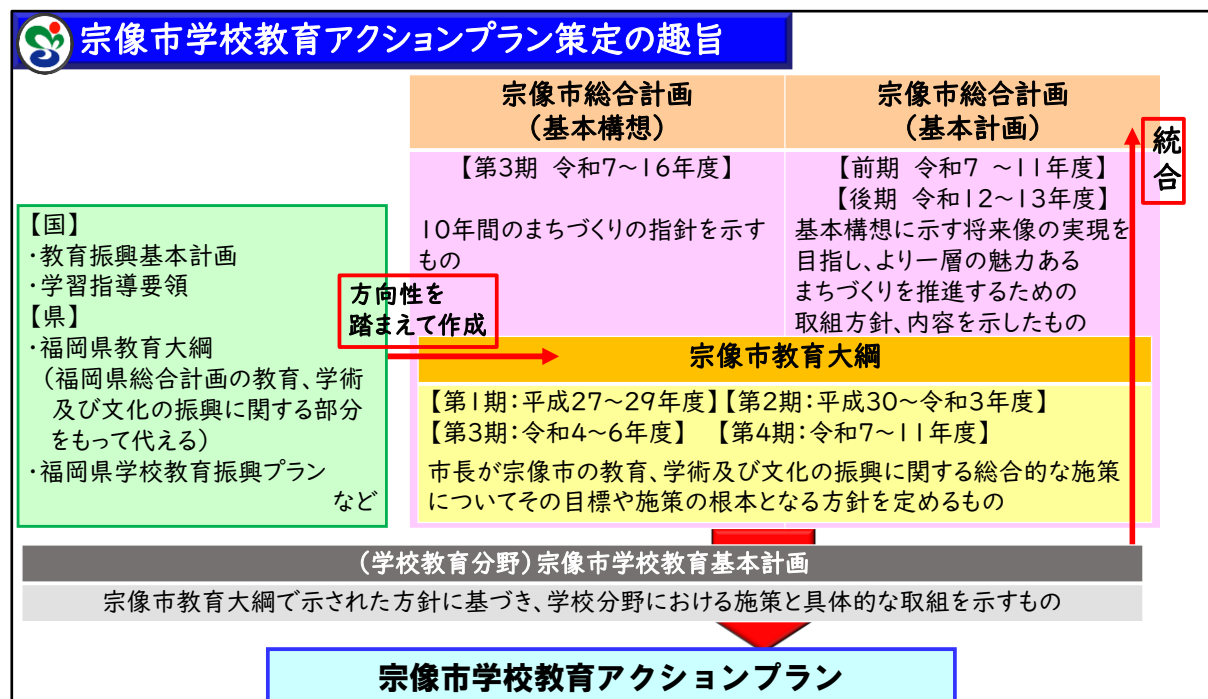
現在、社会の多様化が進む中、共生社会の実現を目指し、社会的包摂を推進することや、予測できない未来に向けて、持続可能な社会の創り手を育てることが求められています。宗像市教育委員会が将来を見据えた教育の方向性を明らかにして、宗像市ならではの特色を生かした学校教育の充実と施策の積極的な展開を行っていくことは、これまで以上に重要であるといえます。

このようなことから、令和5年6月に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」の内容及び総合計画、教育大綱を踏まえ、長期的な展望に立った学校教育の方向性を示す「宗像市学校教育アクションプラン」を策定するものです。

2. 宗像市学校教育アクションプランの位置付け

「宗像市学校教育アクションプラン」（以下、アクションプラン）は、総合計画の教育分野に関する施策や教育大綱の理念を実現するために学校教育において対応すべき課題を重点化して示したものです。

また、その他の関連計画等との整合を図り、作成しています。



3. 宗像市学校教育アクションプランの期間

アクションプランの期間は令和7年から次期学習指導要領改訂までとします。ただし、社会状況の著しい変化を踏まえ、アクションプランの実施期間中にも必要に応じて見直しを行います。また、年度ごとに進捗状況を確認し、その有効性を検証します。

	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)
宗像市総合計画	第2次総合計画(後期)		第3次総合計画			
教育大綱	第4期総合計画に合わせ、1年延長		基本方針は宗像市総合計画へ統合			
宗像市学校教育基本計画			宗像市総合計画に統合			
宗像市学校教育アクションプラン			市総合計画、教育大綱の策定に順じて改訂			
宗像市研究発表会	研究指定校委嘱開始	大島学園 かとう学園	学びの丘学園 玄海学園	城山学園	小中一貫CS 研究推進総括	

4. 宗像市教育大綱の基本理念と学校教育アクションプランの目標

教育大綱では「誰もが楽しく学び、幸せや生きがいを感じ、活躍できるまち宗像」を理念とし、将来の予測が困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために宗像市だからこそできる教育を提供することとしています。

総合計画の目標、教育大綱の理念を踏まえ、アクションプランでは「夢や志をもち、未来を創る宗像の子供の育成」を目標とします。

義務教育9年間の学びを通じて、なりたい自分の姿や理想の社会像をもち、身の回りのひと・もの・こととのかかわりの中で自分や社会の在り方について主体的に気づき、考え、行動する子供を育てることを目指します。



5. 宗像市学校教育アクションプランの成果指標

宗像市学校教育アクションプランでは、「夢や志をもち、未来を創る宗像の子供の育成」に関わる重要成果指標として、「自己実現」「自己肯定感」「幸福感」「主体性」「社会参画意識」の5つを掲げています。また、宗像市学校教育アクションプランの6つの基本施策ごとに関連指標を整理しています。

宗像市学校教育アクションプランの成果指標

【目標】夢や志をもち、未来を創る宗像の子供の育成

重要成果指標

- 将来の夢や目標をもっている。(自己実現)
- ★自分にはよいところがあると思う。(自己肯定感)
- ★学校に行くのは楽しい。(幸福感)
- ★課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる。(主体性)
- ★自分の住んでいる地域や社会をよくするために何かしてみたい。(社会参画意識)

※●は宗像市学習意識調査等で児童生徒の肯定的回答が80%以上を目指す。
 ※★は宗像市総合計画(教育分野)の成果指標と同一または同等の内容

宗像市学校教育アクションプランの成果指標

【目標】夢や志をもち、未来を創る宗像の子供の育成

関連指標

基本施策	関連指標
基本施策 1	○9年間を見通した教育課程の編成は児童生徒や教職員にとって価値や効果が高いと考える教職員の割合 ○保護者や地域の人との協働による取組は学校の教育水準の向上に効果があると考える教職員の割合 ○5年県学テスト→6年全国学調及び6年全国学調→9年全国学調の平均正答率向上
基本施策 2	○1～8年市テスト昨年度→本年度の平均正答率向上 ○児童生徒一人当たりの学校図書館平均貸出閲覧冊数が昨年度より増加 ○内容のまとまりや一単位時間のねらいを子供たち一人一人が達成できるようにするため、個別最適な学びや協働的な学びを充実させるICT活用を行っている教職員の割合
基本施策 3	○困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる ○学校内外の支援を受けていない児童生徒ゼロ
基本施策 4	○「体育の授業が好き」と回答する児童生徒が全国平均以上(小5・中2) ○体力テスト合計点において全国平均以上(小5・中2) ○食べ物に感謝して食事の挨拶をしている ○給食残食率の平均が昨年度より減少
基本施策 5	○UDの視点を意識して教育活動に取り組んだ教職員の割合 ○日本語指導を校務分掌に位置付け、組織的に支援にあたっている教職員の割合(※全体計画を作成している学校のみ)
基本施策 6	○重点目標を意識して教育活動に取り組んだ教職員の割合 ○自校の「働き方改革」内容と進捗について知っている教職員の割合 ○宗像市における心の事業ストレスチェック「働きがい」の項目が全国平均以上

6. 宗像市学校教育アクションプランの基本施策

宗像市学校教育アクションプランの目標を達成するために、次の6つの基本施策に取り組めます。各学校や学園においては、重点目標とアクションプランとの関連性を明らかにし、意図的・効果的に教育課題や経営課題の解消に向けて取り組んでいただきたいと思います。

【基本施策1】小中一貫コミュニティ・スクールの充実

学校、家庭、地域が連携・協働する社会総がかりの教育

本施策では、学園・家庭・地域がめざす子供像を設定、共有し、義務教育9年間の一貫した教育や学園・地域・家庭による総がかりの教育により、地域の担い手・未来の創り手である子供の育成を目指し、小中一貫教育の推進とコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進等に取り組みます。

小中一貫コミュニティ・スクールの充実

学校、家庭、地域が連携・協働する社会総がかりの教育

基本施策1

学校の取組

- ☐ 学校、家庭、地域での活動をまとめ成長を実感する1年生から9年生までのキャリアパスポートの活用
- ☐ 学園における小中一貫した指導方法の共有化と各学校、学園の課題解決に向けた特色ある教育活動の具体化

教育委員会事業等

- むなかた子ども大学事業（企業や地域団体等との連携によるメインキャンパス、特設講座、子ども大学の日、夏の課外授業の実施）
- 小中一貫コミュニティ・スクール推進事業（義務教育9年間で育成を目指す子供像の実現に向けた学園運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進）
- 研究指定・委嘱校事業（宗像市小中一貫コミュニティ・スクール研究発表会等）

主な指標 ○自分の住んでいる地域や社会をよくするために何かしてみたい。 ○ 将来の夢や目標をもっている
○9年間を見通した教育課程を編成することは、児童生徒や教職員にとって価値や効果が高い。（教職員アンケート）
○保護者や地域のひととの協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がある。（教職員アンケート）

【基本施策2】確かな学力の育成

一人一人の深い学びを保障する授業の充実

本施策では、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や一人ひとりの理解の状況や能力、適性に応じた支援を通して、学習指導要領に示される資質・能力の育成を図ります。そのために個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実、児童生徒の情報活用能力の育成、キャリア教育や外国語教育の充実に取り組みます。

確かな学力の育成

一人一人の深い学びを保障する授業の充実

基本施策2

学校の取組

- ☐ 自校の学力向上プランに基づく「見通し」と「振り返り」による学習過程の具体化
- ☐ 各教科等の「指導内容の系統」を意識した授業改善
- ☐ 言語能力、情報活用能力を育成する「朝読書」「校内読書環境」等の充実

教育委員会事業等

- GIGAスクール推進事業（一人一台端末の更新及び個別最適な学びと協働的な学びの環境を構築、宗像市GIGAスクール推進構想の推進）
- 外国語教育支援事業（英語専科指導教員の配置、イングリッシュキャンプ、ファンアクティビティ、ダイアログ・タイム、マンツーマンイングリッシュの実施）
- 学校図書館事業（学校司書配置による学校図書館の機能強化、学校司書研修会や図書館教育担当者研修会の実施、図書館を使った調べる学習コンクール、小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成講座の実施）

主な指標 ○ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる
○ 内容のまとまりや一単位時間のねらいを子供たち一人一人が達成できるようにするため、個別最適な学びや協働的な学びを充実させるICT活用を行っている。（教職員アンケート）
○ ①5年県学テスト→6年全国学調及び6年全国学調→9年全国学調の平均正答率向上②1～8年市テスト昨年度→本年度の平均正答率向上等
○ 児童生徒一人当たりの学校図書館平均貸出閲覧冊数が昨年度より増加

【基本施策3】 豊かな心の育成

誰一人取り残さない重層的な支援の充実

本施策では、他者を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心など、子どもたちに豊かな人間性と社会性を育むために、自発的・主体的な成長や発達を支える生徒指導の充実、道徳教育、人権教育の推進に取り組みます。

豊かな心の育成

基本施策3

誰一人取り残さない重層的な支援の充実

学校の取組

- ☐ 「ふるさと宗像BOOK」を活用した世界遺産を核としたふるさと学習の計画的、系統的な実施
- ☐ 教室が楽しいと思える、「居場所づくり」「絆づくり」となる学級活動(1)の充実
- ☐ 「全ての児童生徒に安心できる学びの場を(フローチャート)」の共通理解と、一人一人の相談支援体制の確立

教育委員会事業等

- 地域への愛着を育むふるさと学習支援(ゲストティーチャー派遣、ふるさとふるふる講座、体験学習会の実施、小学校向けデジタル副読本の作成等)
- 教育相談事業及び子ども家庭相談事業(スクールカウンセラー派遣、教育相談員、スクールソーシャルワーカーの配置及び登校支援員による連携)
- 教育支援センター運営事業(教育サポート室エール、子どもの自立サポートセンターホープの運営、県立少年自然の家「玄海の家」Chot+GKIとの連携)

主な指標：○ 学校に行くのは楽しい ○ 自分にはよいところがあると思う
○ 困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
○ 学校内外の支援を受けていない児童生徒ゼロ

【基本施策4】 健やかな体の育成

生きる力を育む食育の推進

本施策では、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、関係機関と連携した食育の推進等により心身の健康と体力の向上を図ります。また、子供たちが主体的に健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培います。そのために、学校体育の充実、学校安全や「食のまち むなかた」の推進に取り組みます。

健やかな体の育成

基本施策4

生きる力を育む食育の推進

学校の取組

- ☐ 運動習慣や体づくりに関する「一校一取組」の充実、組織的、計画的な実施
- ☐ 感謝の心を育み、たくましい体をつくる食育の充実
- ☐ 防災について子供の「自助」「共助」の意識を高める取組の組織的、計画的な実施

教育委員会事業等

- 食のまちむなかたの推進(食育を観点とした生活科・総合的な学習の時間における9か年の教育課程の構築)と学校支援訪問による食育の充実
- 学校・家庭・地域連携食育推進事業(生活科や総合的な学習の時間、家庭科等の授業を通して、野菜づくりや加工品づくり体験、魚さばき体験、郷土料理の学習等の実施)
- 学校給食管理運営(自校式給食の特徴を活かした給食提供、地場産物の利活用の拡充、市費会計年度任用栄養士の配置によるアレルギー対応、給食費負担軽減交付金や物価高騰対策補助金の活用)

主な指標
○ ①「体育の授業が好き」と回答する児童生徒が全国平均以上。(小5・中2) ②体力テスト合計点において全国平均以上(小5・中2)
○ ①食べ物に感謝して食事の挨拶をしている。②給食残食率の平均が昨年度より減少

【基本施策5】 特別支援教育の充実

多様な教育ニーズへのきめ細かな支援の充実

本施策では、多様なニーズを有する子供たちの自分らしさを育むために、教師一人一人の実践的指導力を高めるとともに、ニーズに応じた関係機関との連携・協働を行い、特別支援教育の推進、日本語指導を来うための体制の推進等に取り組みます。

特別支援教育の充実		基本施策5
多様な教育ニーズへのきめ細かな支援の充実		
学校の取組	教育委員会事業等	
☐ 通常の学級における「UDの視点」を取り入れた授業づくりと学習環境の整備 ☐ 「学校生活における行動ルール」の明確化、共有化による支持的風土のある学級づくり ☐ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、日本語指導が必要な児童生徒への個別の指導計画等を活用した校内チーム体制の確立	■ 特別支援教育推進事業 （特別教育支援員の配置、特別支援教育指導員、日本語指導コーディネーターによる学校訪問、県立特別支援学校の巡回相談等における教職員への相談及び助言の実施） ■ 県立特別支援学校、福岡教育大学との連携による相談機能、研修機能の充実 ■ 医療的ケア看護職員派遣事業 （日常的に医療的ケアが必要な児童生徒の学習や行事参加等を保障するための看護職員の派遣）	
主な指標 ☐ 「UDの視点を適切に取り入れた授業づくりや学級づくりを日常的に行っている。」（教職員アンケート） ☐ 「日本語指導を校務分掌に位置付け、組織的に支援にあたっている」（教職員アンケート）（※全体計画を作成している学校のみ）		

【基本施策6】 学校経営の充実

安全・安心で質の高い教育環境の実現

本施策では、教職員一人一人の専門性を高めるとともに、チーム学校として組織的・協働的に諸課題の解決に取り組むことができるようにするために、教職員の職務及びキャリアステージに応じた資質・能力の育成を図る研修の充実を図ります。また、学校における働き方改革を推進し、安全・安心で質の高い教育環境の実現を目指します。

学校経営の充実		基本施策6
安全・安心で質の高い教育環境の実現		
学校の取組	教育委員会事業等	
☐ 重点目標の達成に向けた「調整授業時間制度」を見据えたカリキュラムマネジメント、組織マネジメントの推進 ☐ 働きやすさ（心理的安全性）と働きがい（成長実感）を視点とした「働き方改革」の充実	■ 宗像市学校部活動ガイドラインに基づく部活動の地域展開の推進 ■ 地域の核・地域防災の拠点となる学校施設・設備の整備 ■ 小・中学校施設改修事業 （教室不足解消に向け、教室増築工事の設計、教育環境向上のための照明のLED化、トイレの洋式化の推進等）	
主な指標 ☐ 重点目標を意識して教育活動に取り組んだ教職員の割合 ☐ 自校の「働き方改革」内容と進捗について知っている教職員の割合 ☐ 宗像市における心の事業ストレスチェック「働きがい」の項目が全国平均以上		